

霧島山(新燃岳)の地震活動・地殻変動*

Seismic activity and crustal deformation of the Kirishima volcano (Shinmoe-dake)

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2017年10月1日から2018年1月31日までの期間における地震活動と地殻変動について報告する。
2017年10月11～17日にかけて霧島山新燃岳で連続的に噴火が発生した。

図1は防災科研火山観測網の定常処理でおこなっている震源分布図である。新燃岳直下では、やや低周波地震が噴火直前・直後や11月29日～12月4日、1月16～17日にかけて増加した。

図2は同期間の基盤的火山観測点(KRMVとKRHV)の傾斜変動図である。図3の同期間のGNSS解析結果である。基線長変化においては、10月11～17日の連続的噴火以降も、伸びの変化が認められる。

* 2018年3月19日受付

** 棚田俊收, 上田英樹, 宮城洋介, 藤田英輔, 長井雅史

Toshikazu Tanada, Hideki Ueda, Yousuke Miyagi, Eisuke Fujita, Masashi Nagai

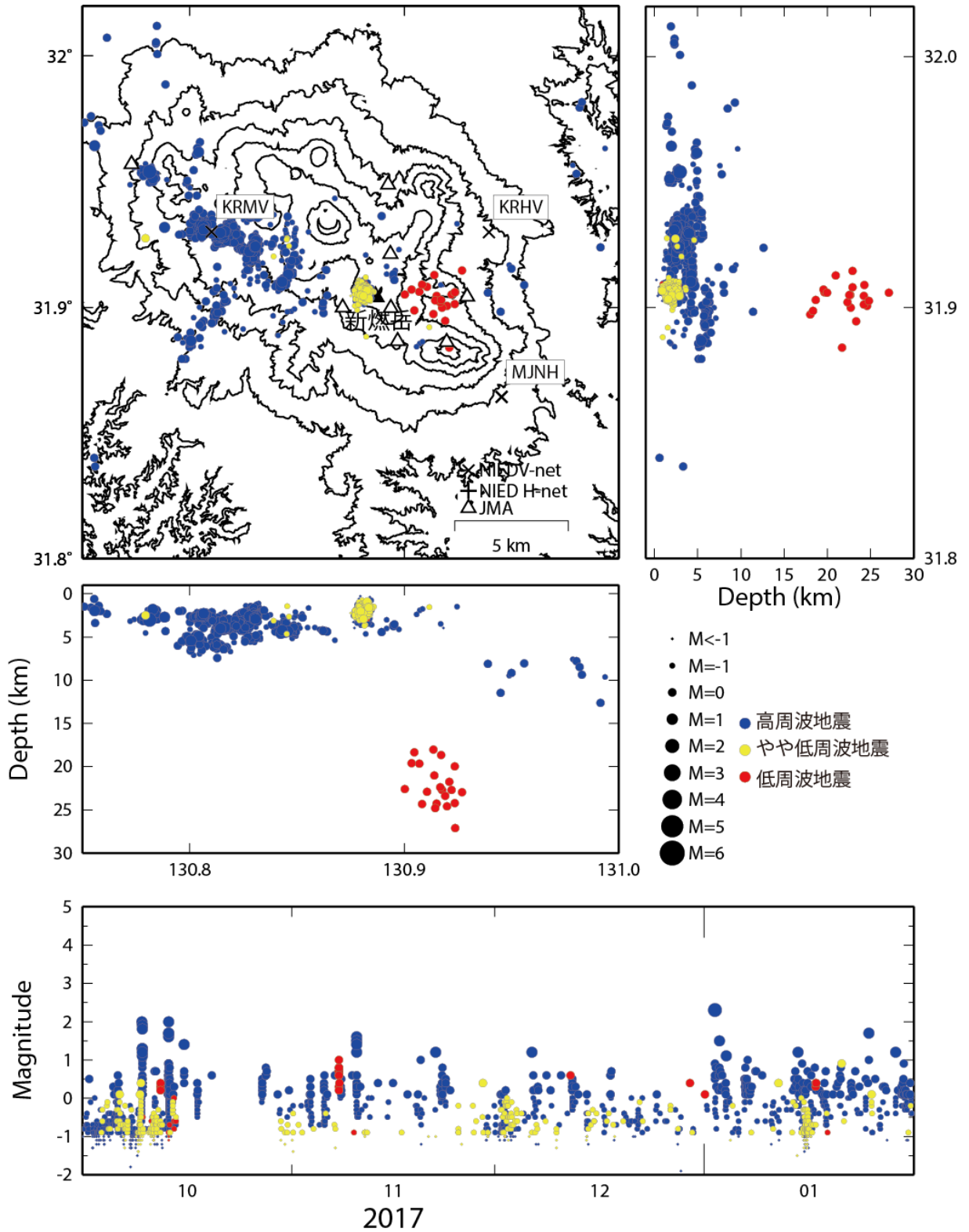


図1 霧島山の震源分布図(2017/10/1-2018/1/31)
この地図は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。

Fig.1 Hypocenter distribution around Kirishima Volcano(2017/10/1-2018/1/31).

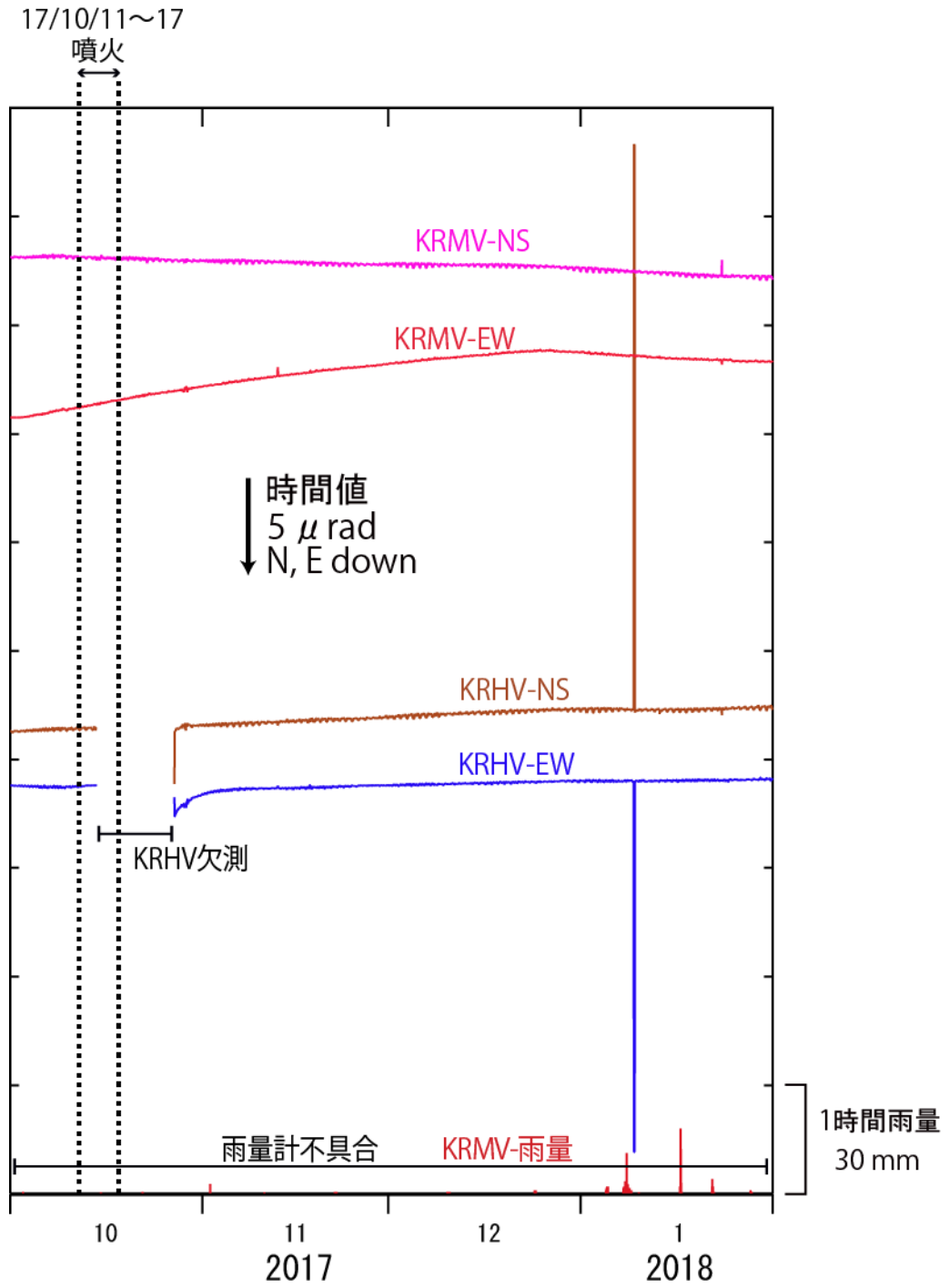


図2 防災科学技術研究所による傾斜変動観測結果(2017/10/1-2018/1/31)

Fig. 2 Tilt change of NIED tiltmeter (2017/10/1-2018/1/31).

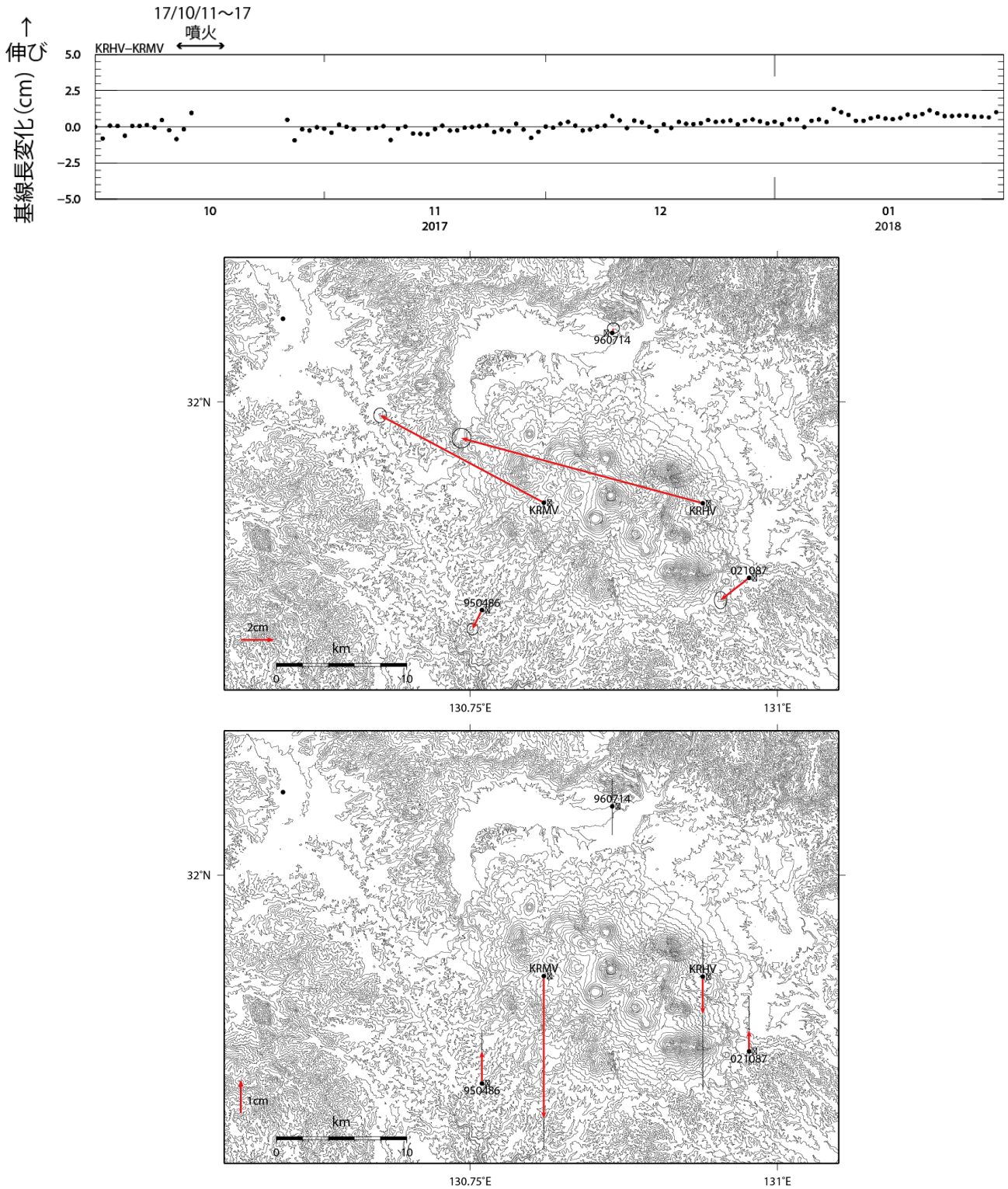


図3 (上段) 防災科研 KRHV と KRMV との間の基線長変化図
 (下段) 防災科研の GNSS と 国土地理院 GEONET の統合解析によって得られた地殻変動
 Fig. 3 (Upper) Baseline length change between KRHV and KRMV of NIED.
 (Bottom) Observed displacement vectors at GNSS stations of NIED and GSI relative to Ooguchi(950485) for the period from October 1, 2017 to January 31, 2018.